

研究開発課題説明資料（事前評価）

1. 課題名(期間)

建築・敷地等の緑化による都市の環境改善効果に関する基礎的研究
(平成 16 年度から 18 年度)

2. 主担当者(所属グループ)

鈴木 弘孝（住宅・都市研究グループ）

3. 背景及び目的・必要性

都市の緑化は、地球温暖化の防止、都市のヒートアイランド対策、生物多様性の確保、良好な都市景観の向上等現下の都市行政上の諸課題に対応していくための重要な政策手段の一つとして位置づけられる。特に土地の利用が高密度化した大都市部の市街地にあっては、人工地盤や建物の屋上・壁面を積極的に緑化していくことが重要な都市政策上の課題となっている。

本調査研究は特に技術開発を促進すべき要素技術としての壁面緑化による外部環境への熱負荷軽減効果について実証実験を行うとともに、他の機関との連携を図りつつ、実験結果や既往の研究成果等から得られた数値を元に地区・都市区スケールでのシミュレーションにより、都市緑化による環境改善効果に関する評価手法の開発を行い、都市の緑化施策を総合的に推進していくための基礎的資料を得ることを目的として実施するものである。

4. 研究開発の概要・範囲

・大規模建築敷地等の緑化の実態、屋上・壁面等の事例調査等により、緑化技術開発上の課題を整理するとともに、大学、民間企業等との共同と連携を図り、緑化による環境改善効果の計測、地区スケール、都市スケールでのシミュレーション熱環境改善効果について評価を行う。

(検討すべき事項)

- (1)大規模建築物における公開空地等と緑化の実態調査
- (2)人工地盤、屋上・壁面等における緑化技術の課題整理
- (3)計測調査の実施
- (4)建築・敷地レベル、地区スケールでの効果分析と評価
- (5)都市スケールにおける環境改善効果のシミュレーション
- (6)成果のとりまとめと今後の都市緑化推進方策への展開

5. 達成すべき目標

- ・建築敷地等の緑化による温環境改善効果の定量的把握
- ・都市緑化による地区・都市スケールでの温熱環境改善のシミュレーション評価手法の開発

6. 進捗状況

平成 16 年度から実施予定の新規課題として予算要求を行うとともに、事前評価として外部評価を実施しているところ。